

11月度「京都学ラウンジ ミニ講座」(開催報告)

2020年12月3日
京都学・歴彩館
075-723-4835

京都学・歴彩館では、京都について学ぶ楽しみを広げる目的で、毎週木曜日に「京都学ラウンジ ミニ講座」を開催しております。この度11月5日(木)から11月26日(木)にかけて「生きた植物の博物館—京都府立植物園のすばらしき世界—」と題して、4回開催しましたので、下記のとおり報告します。

記

- 日 時 2020年11月5日・12日・19日・26日
いずれも木曜日13:30~14:00
- 会 場 京都府立京都学・歴彩館 1階小ホール(第1・2・3回)
京都府立植物園植物園会館2階研修室(第4回)
- 参加者数 62名(5日)、49名(12日)、56名(19日)、53名(26日)
合計220名
- 内 容
「生きた植物の博物館—京都府立植物園のすばらしき世界」(全4回)
第1回 京都府立植物園のランドスケープデザイン
(京都府立植物園技術課樹木係長 中井 貞)
第2回 観覧温室に咲く花々～色鮮やかな熱帯植物を紹介～
(京都府立植物園技術課課長補佐・温室係長 山方 政樹)
第3回 京都府立植物園で働く中で (京都府立植物園技術課花壇係技師 植岡 壮平)
第4回 中国黒竜江省の野生ハスの国内初開花について
(京都府立植物園技術課企画係副主査 山本 和喜)

■ 講座の様子

2023年に開園100周年を迎える京都府立植物園。四季折々の植物が訪れる人々を迎えてくれる。11月度のミニ講座は府立植物園職員を講師に迎え、植物園の素晴らしきその世界について、講師それぞれの仕事を通してお話しいただいた。計画的に配された樹木は、訪れる人々の空間認識を助けてくれていた。敷地外の景観や空を取り込んだランドスケープは、そっと来園者に安らぎを提供してくれる。観覧温室に咲く様々な花々…。開花のために部屋ごとに調整された環境設定が織りなす世界だった。国内外の植物園の交流など、来園者にはあまり知られていない植物園の仕事もあった。中国の野生ハスを開花させるために東奔西走。世界を巡り開花にいたらない原因を突き止める。2020年夏、初開花。初挑戦から既に14年が過ぎていた。中国のハス開花への挑戦は不断な研究の賜物であったことを教えてくれた。

来園者に安らぎを与えてくれる植物園。半木の森に安らぎを与える植物園職員の仕事が伝わる内容で好評を得た。

